

# 書写通信

姫路工業大学  
アメリカン  
フットボール部  
O B 会 報

## TO OLD BLUE

# 2000

# 第4号 [夏号]

2000年 8月 1日  
編集責任者 匠 宏之  
兵庫県相生市双葉 3-2-4

### 秋季公式リーグ戦日程決定

2000年秋季リーグ戦の日程が決定しました。ブルーライナーズは3部Aブロックに所属していますが、今年はブロック編成があり、神戸商船大学と兵庫医科大学がBブロックに移り、代わりに徳島大学と流通科学大学が参入してきました。ブロック編成の狙いは地域性を強くすることと、Fブロックに集中していた部員数が少ないチームを各ブロックに分散させることとにあります。

従来Aブロックは旧名「西ブロック」であり地域性ははっきりしていましたが、鳥取大学が所属しており今回の徳島大学の参入で地域的には「その他ブロック」とのような印象も受けます。

さて新規加入の2チームですが流通科学大学は昨年Fブロックで優勝している強豪で要注意と言えます。徳島大学は昨年激戦区のEブロックで最下位、部員数少ないですが油断はできません。

試合日程は以下の通りです。序盤に下位チームとあたり日程としてはまずまずだと思います。

9月15日	対岡山理科大	11:30	岡山県営球技場
9月23日	対徳島大	12:40	西宮球技場
10月9日	対流通科学大	14:50	姫路獨協大グラウンド
10月21日	対鳥取大	11:00	伊丹陸上競技場
11月4日	対姫路獨協大	11:30	西宮球技場

OBのみなさんの応援をお待ちしております。

\*\*\*\*\*

### 春季シーズン結果報告

今年の春のシーズンは他チームとのスクリーメージを2回、OB戦を含めた練習試合を3試合行いました。今年のチームは昨年の4回生ごっそり抜けて若返ったため、いきなり試合をするのでなく他校とスクリーメージをすることでオフェンス、ディフェンス、キッキングのプレー中での役割を学ぶことを最優先させました。その上で後半の試合でゲーム感覚を養うといった春シーズンを行いました。以下に春シーズンの内容を振り返ります。

※4月29日 神戸国際大とのスクリーメージ  
神戸国際大は2部のチームであり、スクリーメージにあたりオフェンスもディフェンスも春に積み重ねた基本がどの程度通用するのか試すのが目的だった。しかしオフェンスラインなどは胸を借りるつもりで思い切って仕掛けて行くべきところを消極的なブロックに終始してしまい自力に勝る相手にスクリーメージを支配されてしまう。状況打開に試みたパスはことごとく失敗に終わる。ディフェンスは各人

→↑

→↓システムの理解が不十分で良いように出される。タックルミスがさらに被害を増大。

技術、体力、知識、モラルと全ての面で2部との差を痛感した。

※5月4日 OB戦 7-6で現役チームの勝利

現役チームの反省点としてはオフェンスはプレーが単調すぎたこと依然としてパスの成功率が悪い、致命的なミス(ファンブル)があったことがあげられる。

ディフェンスは基本的なコールできっちり止まる形が出来ていないためギャンブルチックな守備を仕掛けるとその裏をかかれたプレーでロングゲインを許してしまった。

※6月11日 神戸学院大とのスクリーメージ

オフェンスは主武器のダイブ、オフタックル、プラストの完成度を高めるべく挑んだ。後半時折RB陣が感触をつかんだ走りを見せたのは収穫。ディフェンスは新スターターを中心にまだまだ動き方に不自然なところが多い。

※6月24日 大阪工業大との練習試合

	1Q	2Q	3Q	4Q	計
姫工大	0	0	0	0	0
大工大	13	6	0	6	25

選手個人の体力の無さ、攻守ともリズムを全く形成できないことなど問題点が浮き彫りとなったゲームでした。守備では新スターターも多かったが、システム理解不十分でオプションに対する守りが機能しない。後半はオプションだけに的を絞ったギャンブルチックなディフェンスを引きなんとか失点をくい止めたが、4Qではこれが裏目にでてパスを決められる。オフェンスはダイブ、オフタックル、オプションのベーシックなプレーを繰り返すがドライブを続けるに至らない。ムードを変えるはずの簡単なパスもことごとく決まらない。決め所でもボールが手に付かず自滅に至る場面もあった。

※7月9日 大阪大JVとの練習試合

	1Q	2Q	3Q	4Q	計
姫路工業大学	12	0	3	0	15
大阪大学JV	0	7	8	7	22

阪大という名前に気負っていたがJVだけに勝てない相手ではなかった。むしろ絶対勝たなければならない相手だった。相手といっしょだけミスしていたら勝てる試合も落としてしまう。昨年と違い得点力が小さい分大事にボールコントロールでできる力が欲しい。しかし地道なプレーの中にRB陣の成長は見られる。ディフェンスは主将今井の動きは良くなってきたが他のLB陣の安定性にはまだまだ時間がかかる。各人夏にどれだけの経験が積めるかが課題。

+++++  
**OB戦みなさんどうもおつかれさまでした**

+++++  
すでに結果を述べておりますが5月4日に今年もOB戦を開催しました。例年OBチームを編成するのに人数がぎりぎりでしたが、今年は昨年卒業したOB一年生が9人参加しており楽にチームを作ることができました。ゲームの方は残念ながら現役に花を持たしてしまいましたが、参加したOBのみなさんはさわやかな汗と心地よい疲労と足のつりを感じた1日だったと思います。

ゲーム後のOB、現役の懇親会ではOB同士の交流をはかるとともに現役選手にも様々なアドバイス、激励を与え現役陣にも良い刺激になったようです。

来年以降、益々盛大にOBと現役の交流が行っていきたいと思います。例年のことですが卒業後10年以上のOBの方の参加が少なく残念です。来年こそはぜひ時間を作って書写まで足を運んで下さい。

参加OBは以下の通りです。(敬称略)

- 昭和42 高濱尚敬
- 昭和61 浜岡弘文
- 昭和63 金谷祥治
- 平成元 滝井秀、石田昌久、緋田幸浩
- 平成2 木畑進
- 平成3 田中将敏、西村嘉容
- 平成4 高平浩志、岩本篤信、山本哲実、田中角栄
- 平成5 河内保人、篠原淳
- 平成7 林哲太郎、山本晋、吉武智哉、堀江潤一、水上弘龍、熊田博康
- 平成8 坂本卓也、前田勝、河村慎吾、山口泰弘、石原知範、尾田太、森本大輔、米澤幸嗣、南原聡
- OG 岡田二美、前田珠紀、五十嵐智子

**▽▽▽△▽OB会費ご協力をお願い▽▽▽△▽**

「夏のボーナス」、そんな物は遠い過去のことだとお嘆きの諸兄も多いかと思いますが、ここは声を大きくお願いしたいです。「OB会年会費1万円よろしくお願いします。」OB戦にいらした方からは合計146,000円の会費を賜りました。みなさんどうもありがとうございました。夏の合宿激励、秋のリーグ戦観戦を予定されており会費がまだの方は是非その機会にスタッフもしくは選手幹部にお預け下さい。遠方にお住まいでチームに直接お渡し出来ない方は以下の口座に振り込みにてお願いします。

**さくら銀行姫路支店普通口座451-8185894**

これまでもOBのみなさんからは多大な寄付を学生(選手)に差し出されたことと思います。これまでも有効に使われて頂きましたが、目先のことや消耗品などに使われ「なんかよく分からないうちに無くなった」といったこともありかねません。みなさんから頂いたOB会費はOB会の方で管理し、真の意味でチームに役立つものに使用する所存です。また年一回会計報告も行い会費を捻出していただいたOBの方に使途をオープンにしていきます。主旨ご理解の上ご協力お願いします。

**@@@リーグ戦へ向けての抱負@@@**

秋のリーグ戦に向けて春の反省と今後の抱負を選手を代表して主将の今井から、オフェンスについてはコーチの山口、デフェンスについてはコーチの前田から述べます。

**(今井主将)** 春は ミスの目立つ結果となってしまいました。オフェンスではファンブルやマフ、ディフェンスではタックルミス等試合の流れを大きく左右するようなミスを連発するという自分で自分の首をしめるような場面が、何度もありました。日々の練習でのミスに対する甘さがこのような結果を生んでしまいました。事実阪大JV戦はミスがなければ勝てた、悔いの残る試合でした。しかし、これでミスをしないチーム、ミスに対して甘えのないチームが試合に勝つというのを選手一同、身をもって理解したと思います。

また怪我人の多さは大きな問題です。ただでさえ人数の少ないチームで常に4, 5人の怪我人がおり、試合だけでなく日々の練習メニューも限られてしまい、チーム全体のレベルアップに大きな支障となりました。

他にも問題はいろいろありますが、その半分は自分達の自覚の無さが生んだものです。公式戦開始までの8月の1ヶ月でまず選手全員の意識の向上を目指し、上記のような問題を一つ一つつぶしていきます。公式戦の初戦にその結果が出せなければ秋も春と同じような結果で終わってしまいます。2部昇格を目標にした以上主将としてチームのために全力を尽くします。今後もOBの方々のご支援よろしくお願ひします。

**(山口コーチ)** 今年のおフェンスはRunを主体にプロI体型から展開していきます。昨年からみてLine sのスターター喪失はRGのみで、まことに心強いことだと思います。Back sに関しては、Line sと対照的に昨年からスターターなのはWR大畑のみで、若いBack sであることは確かです。しかし若いだけに今後の成長が期待できます。8月の合宿あけが楽しみです。

Runプレイの中で今年主体となっていくのはDiveです。Back sの信頼の厚いこのプレイは確実なゲインを重ねていきます。Diveからの展開はGive、Trap、Optionなどです。このように書きますと今年はOptionのチームかと思われるでしょうか?いえ違います。今年のキープレイはOff Tack leです。Dive系統のプレイからいかにOff Tack leを効果的に用いることが出来るか。今年のおフェンスの注目していただきたいところです。

今シーズンも残り5ヶ月。現役、OB共に熱くなる時期にさしかかってきました。昨年同様少しでも多くの皆さんに試合を観ていただきたいと思います。

**(前田コーチ)**Dチームは昨年のスターターから7人の選手が引退し、かなりの若返りをはかりました。今年チームは、安定し、経験豊富なDLに、3回生中心の運動能力の高いDBを揃え、何よりも主将今井、副主将竹村がいるLB陣にプレー面で、気持ちの面でもDefenseを引っ張ってもらいたいです。春のシーズンを終えてオブション攻撃に対する守り方の徹底、さらなる個々の能力アップを必要と感じたため、それらを意識して練習して行きたいと考えています。

# 昔の俺、今の俺

今回は川当さんからの紹介で宮崎健一さん、西岡さんからの紹介で宮本運さんの登場です。2人のOLD BLUEの歴史に耳を傾けましょう。



川当さん 書写通信のご案内、ありがとうございます。お元気そうで何よりです。あなたのジャンピング・クイックパスを懐かしく思い出しました。私は先に紹介されました川当さん、覚田さんと同期の宮崎健一と申しまして、昭和41年に金属材料工学科に入学しました。今は学科名が替りましたが、この年に出来たばかりの第1期生で、現役のポジションはバックスを担当していました。

好きなプレーはセンターの両サイドを中央突破し突っ込むプレーで、昔は#31、#33と呼んでいました。卒業して今年で30年になりますが、後輩の多くの方が「ブルーライナー」を育てて頂いていることを大変嬉しく思います。私が1年生の時に創部されたのですが、その時、私は大阪から姫路まで快速電車で通っていきまして、先の2人も同じ快速で帰ったものです。

確か、チーム名はこの快速電車から来たかと思います。一番の思い出は最初の対外試合のファースト・ゲームです。そのファースト・ゲームは姫工大からオフェンスでして、ファースト・プレーからフレッシュ・ダウンの連続でした。「こんなもんかいな、これは簡単に勝てるな」と思ったのを覚えています。しかし、我々は小人数でしたので、オフェンスの練習とタックルの練習が中心で、ディフェンスは弱かったですね。

また、京大との合同合宿をしたのもいい経験でした。彼らのコーチが外人だったのと、当然、英語で練習をしていたので「さすが、京大」と感じ入ると共に、さすが1部リーグだなと伝統の重みを感じましたが、我が姫路工大のフットボール部も今や、30年以上の歴史を持つようになりました。我々の「姫路工大 アメフト部」は覚田さん、川当さんの2人がいなかったら出来ていなかったですね。

私はこの当時の創部活動を通じて「この何かを創っていく」というすばらしい経験をさせてもらった事を非常に喜んでます。そして、あとあと多くの後輩達の熱き想いが、今の「姫路工大 ブルーライナー」の歴史というか、エネルギーになっているように思います。昨年の最終試合は負けて残念でしたが、今年も応援に行きたいです。

最後に、卒業生の中でも、特に、熱き想いの人…高濱さん。私を再び西宮球技場に呼びもどしてくれた貴方、あなたのEメールが無かったら後輩達の試合を見る機会も無かったかもしれません。どうも、有り難うございました。

OBの中で50歳を超えて、なお現在までアメフトに接している貴方が好きです。

次回の紹介をお願いいたします。



はじめまして、51年応化の宮本 運（はこぶ）です。

西岡君も元気そうで何よりです。西岡君は、私の弟の友人であり高校の後輩で無理やりアメリカンフットボールをさせましたが4年間ご苦勞様でした。

私の入部のきっかけは、現在日航のパイロットになった山田（高校の同級で一年途中で航空大学校に編入した。）に練習を見に行こうと誘われ、その場で引っ掛けられました。同期は8人で先輩も8人だったと思います。試合をするにも新入部員は貴重な存在であった。ただし、戦力的には今一つ物足りなかった筈ですが、私達にとっては直ぐレギュラーになれるチャンスでもありました。私もルールも知らないでガードで遠征試合に出場したことが思い出されます。学年が上に行くに従い目立つポジションについては言うまでもありません。

四回生の時は、キックオフのキッカー・オフェンスエンド・フリーセーフティー（当時モンスターと呼んでいた）と独り占めして楽しんでいました。現在は、大阪府高石市で家内と高校三年生の娘・中学三年生の息子の四人暮らしです。仕事は、学校での化学とは無縁の大鉄工業㈱で軌道（線路）の建設・保守をしています。平成9年4月より神戸支店勤務となり神戸駅の高架下にはいます。卒業後は趣味のゴルフだけで、運動とは無縁の生活をしています。息子は、ご多分に漏れず同じフットボールでもサッカーに熱中しているありさまです。今年のOB戦は娘と楽しく拝見させて頂きました。現役チームとOBチームの見た目の差は感じられなかったのは、私が歳を取った証拠かもしれません。試合内容は現役チームが手心を加えていたのではないのでしょうか・・・？試合中は、娘に自慢するためルール説明・解説に力を入れていました。久しぶりに親子の有意義な時間が持てて大変感謝しています。試合が見るに従い自分も出てみたい気持ちになったのは言うまでもありませんが、出場する時は保険を増額しないと家内が反対することでしょう。今後は、機会がある限り応援に行きたいと思っています。今回は、姫路出身で現役当時人気者であった同期の 服部俊郎 さんをお願いします。

夏期合宿日程のお知らせ

今年も夏期合宿を神鍋高原にて行います。日程は8月11～14日の4日間です。(11日は移動のみで練習はありません)

合宿期間中の予定としては12日に宝塚造形大学と、13日は大阪大学とスクリメージを行います。人数が増えたと言ってもまだまだ自チームだけで両面のスクリメージを行うのは難しいのが実状です。9月に開幕する公式戦への最後の實力把握の場として挑みます。

(個人的には今まで同時期に神鍋で合宿をしていたのに相手にされなかった大阪大学とスクリメージできるのは感慨深いものがあります。)

宿舎は昨年同様の「民宿ひさのや」で兵庫県城崎郡日高町太田138番地 電話(07984)5-0521です。グラウンドは民宿ひさのや所有のグラウンドです。

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

——引き続きe-mailで情報発信——

@@@@@@@@@@@@@@@@@@@@

これから秋のリーグ戦に突入していきますが、今年も全試合の速報をe-mailで発信していきます。現在52名のe-mailアドレスを登録しており情報を配信しています。新しくe-mailアドレスを入手された方、アドレスが変更になった方 **htakumi@d2.dion.ne.jp**までご一報下さい。

また55年卒業の川原崎さんがブルーライナーズのホームページを作成してくれました。ページの内容も更新毎に充実しております。ページ内の掲示板はOB同士の情報交換の場にもなっております。ぜひ以下のサイトまでお越し下さい。

<http://www.geocities.co.jp/Athlete-Sparta/3018/index.html>

☆☆☆☆☆ 2000年度新入部員紹介☆☆☆☆☆

今年の新入生を紹介いたします。ここ数年10名近い新入部員が入ってきたことで部員数が増え安定した戦力の一因となっていました。今年は残念ながら3名と例年より少ないのですが、新入生教育係の学生コーチが絶賛する能力の高い素材ばかりです。本人もそうですがチーム全員が彼らの秋のリーグ戦での活躍を期待していますので、温かく見守ってください。

①名前、②出身高校、③スポーツ歴、④希望ポジション、⑤一言



- ①伊倉 崇尚
- ②静岡県沼津東高校
- ③バレーボール
- ④ラインバックカー、パンター
- ⑤チームに貢献したいです



- ①関口 渉
- ②岐阜県立可児高校
- ③バスケットボール
- ④タイトエンド
- ⑤鋼の筋肉を目指す



- ①丹羽 洋文
- ②大阪府立住吉高校
- ③陸上競技
- ④ランニングバック
- ⑤古着好きです

編集後記

◇今月は写真が少なく大変でした。何と言っても新入部員が3名だけというのは誤算でした。

◇今回は辛口の話を書き得ません。ここ数年、2部昇格という目標は達せないまでも3部Aブロックでの優勝と入れ替え戦出場を2回経験していることもあり、2部のチームと練習試合やスクリメージを行う機会が増えました。これはひとえに昨年まで先輩が築いてくれた実績のたまものであることを忘れないで欲しい。

◇2部を目指すのが当たり前のように軽く論じる前に、自分たちの実力と2部に上がることに絶対必要な力の差を改めて見つめて欲しい。そしてチーム全員一人一人がその差を埋めるために莫大なエネルギーを費やす覚悟を持って欲しい。

◇2部に上らなアカンという「must」的な考えから、何をしてでも上がるという「want」的考えに変わって欲しい。(匠)